

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

家 庭		東京書籍
総 評		<p>写真や文字が見やすく、情報量が多い。構成や配列に工夫があり、中学校との学びのつながりが意識された内容になっていると感じる。また、基礎基本をしっかり振り返り、実生活で生かす視点が各題材とも大切に扱われている。</p> <p>学校調査においても、「さし絵や写真などが鮮明で、色づかいが配慮され、大きさや位置などが適切に配置されている」また、「実践的・体験的な活動について工夫されている」という評価が高かった。</p> <p>文字の大きさ・フォント・行間などは、工夫・配慮を要する部分があり、題材名も難しいという評価が多かった。また、情報量が多く、教科書で「何をどう教えるのか」教える側の力量が問われるのではないかと感じる。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ P.122～の題材では、防災についての観点でも地域とのつながりが書かれており、安全な社会の実現に配慮されている。① ○ Yチャートや記録シートのような思考ツールを活用したり、学習の流れが3つのステップで簡単な言葉で示されたりしており、主体的・対話的な学びの実現に向けた授業改善に資するよう配慮されている。③
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製作などのもの作りの例も豊富に提示されており、実践意欲が高まるように工夫されている。② ○ 「プロに聞く！」のコーナーでは、その題材の学習に関するプロの方の話を取り上げ、より現実的・実践的な活動について知ることができるように工夫されている。⑤ ○ 日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けられるようにまとめてあり、児童にとって理解しやすい内容となっている。②⑦ ○ 「資料」のコーナーは多様な情報が掲載されている。⑤
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真が大きく、文字とのバランスも良く見やすい。② ○ 文字の色使いも配慮されていると感じる。③
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元で新しく学習することとこれまで学習した他教科との関連が細かく記載されており、家庭科での学びがこれまでの学習とどうつながって、どのように発展していくか理解しやすい。① ○ 学習の流れが3つのステップで明記されている。また、「いつもたしかめよう」や「ふりかえろう」が示されており、学習したことを確実に習得できるように工夫されている。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材とも資料が豊富で学習意欲を高めるために工夫されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特になし
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報量が多く、自ら問題意識をもって考える学習をするには、やや配慮を要する。また、指導計画を実態に合わせてしっかり立てる必要がある。
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大きさがA4サイズなので場所が取られたり重たく感じたりする。①
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特になし
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報量が多いので、調べ学習を意欲的にやりにくい面もある。(P.39のマーク)

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

家庭		開隆堂出版
総評		<p>児童が主体的かつ対話的に学習できるよう、「話し合おう」「やってみよう」が設けられ、「ふり返ろう」「生活に生かそう」で実生活に生かす工夫がされている。記載されている内容や情報の量も適切である。</p> <p>学校調査においても、「児童の発達段階や特性等を踏まえつつ、論理的思考力・判断力・豊かな表現力等を育成するよう配慮されている点で優れている」という評価が多かった。また、使われている文字の大きさや行間なども、ユニバーサルデザインの観点から見ても児童の実態にそったものとなっている。</p> <p>安全・安心な社会の実現に向けて、という点では、学ぶべきことについての記載がやや少なく、物足りなく感じられる。また、文字が大きく文字数も少ない分、中学校の家庭の教科書に進んだ際には大きなギャップを感じるのでは、という懸念がある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 各題材ともに、単元のはじめに「なぜその学習を行うのか」を考えさせた上で、技能や知識の習得につなげている。また、「見つける・気づく⇒わかる・できる⇒生かす・深める」のわかりやすい3段階で学べるよう工夫されている。…②・③
	2 内容の取扱い	○ 日常生活の中から課題を見だし、それを解決する力を養うために役立つ内容が取り上げられている。また、P.17やP.23などにある「参考」のコーナーは、様々な生活スタイルや方法に対応できるよう工夫されている。…③・④ ○ 「調べよう」「話し合おう」のコーナーを授業に取り入れることで、問題解決的な学習に取り組みやすくなっている。…⑥
	3 外的要素	○ 文字が大きく、強調すべき部分はわかりやすい太字で表されており、読みやすい内容になっている。…④ ○ 教科書の大きさがA4より小さく、実習の際に邪魔になりにくい。 ○ QRコードを活用し、動画が見られることでわかりやすい。
	4 構成・配列	○ 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程を振り返ったり、学んだ内容を生活に生かしたりすることができるよう配慮されている。…② ○ これまでの学年で学習した他教科との関連が明記されている。…① ○ 家庭科で使う用語の英単語が各ページの下欄に示されている。…①
	5 資料・その他	○ 単元の流れが、2年間を通して計画しやすい順番に並んでいる。…② ○ P.23の作例や、P.115のおかずの例などが豊富で、児童が意欲的に学習できるよう工夫されている。…②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 防災についての記述が少ない。
	2 内容の取扱い	○ 特になし
	3 外的要素	○ コンパクトにまとめられているが、写真や文字の配列で見にくく感じるところがある。
	4 構成・配列	○ 特になし
	5 資料・その他	○ QRコードで資料が見られるようになっているが、読み取る端末が必要。

